

よりよい学校づくりをめざして

～令和5年度 学校生活アンケート（12月実施）を通して～

評価基準 S評価：90%以上が肯定的評価（95%以上はS+と評価。以下同様に幅の中で中間以上は+）
 A評価：80%～90%未満が肯定的評価 C評価：50%～70%未満が肯定的評価
 B評価：70%～80%未満が肯定的評価 D評価：50%未満が肯定的評価

■ アンケート結果 ～「笑顔いっぱい やさしさいっぱい がんばりいっぱい」を実現するために～
 増減…+1.5以上◎ +1◎ +0.5○ ±0 - -0.5△ -1□ -1.5以上▲

No.	アンケート項目 それぞれへの質問は概ね次のような聞き方をしています 保護者への質問・・・お子さんはどうか？学校はどうか？ 児童への質問・・・自分はどうか？学校はどうか？ 教職員への質問・・・手立てを講じているか？	保護者			児童			教職員		
		R4	R5	増減	R4	R5	増減	R4	R5	増減
1	学校生活が楽しい	S	S	—	A+	A+	—	S+	A	▲
2	友達と仲良く過ごす	S	S+	○	S	S	—	S+	A	▲
3	家族・近所の人への挨拶	B	A	◎	A+	B+	□	S+	A	▲
4	授業はわかりやすい	A+	A+	—	S+	S	△	S	A	□
5	少人数指導、一人一人に合った教え方	/	/	/	S	A+	△	S	A	□
6	毎日すすんで宿題に取り組む	C+	C+	—	A+	A+	—	A	C+	▲
7	すすんで本を読む（指導）	C+	C	△	B	C+	△	B	C	□
8	言葉遣いに気を付ける	/	/	/	B+	B+	—	S+	B+	▲
9	社会のルール・マナー（の指導）	S	S	—	A	A	—	S	A	□
10	早寝早起き・心身の健康・基本的生活習慣	A	A	—	A	A	—	A+	B+	□
11	命を大切に作る心・豊かな心（の育成）	A+	A+	—	S+	S	△	S	A	□
12	体力づくり（の指導）・実践	C+	B+	◎	A	A	—	A+	C+	▲
13	教育相談（相談しやすい体制）	B+	B+	—	S	A+	△	S	A	□
14	いじめ・けんかの指導、心の悩みへの対応	A	B+	△	A	A	—	S	B+	▲
15	児童の自主性・社会性（の育成）	/	/	/	S	S	—	S+	B+	▲
16	掃除や係の仕事（の指導）	/	/	/	S	S+	○	S+	A	▲
17	よさや努力を認める（指導）	/	/	/	S	A	□	S+	A	▲
18	交通安全意識（指導）	S+	S	△	S+	S+	—	A+	B+	□
19	通学のきまり・登下校（指導）	/	/	/	S	S+	○	S	C+	▲
20	地震・火災・不審者（指導）	S	S	—	S+	S	△	/	/	/
21	授業公開・学校行事	A+	A	△	/	/	/	/	/	/
22	学校からの情報発信	A+	A	△	/	/	/	/	/	/
23	保護者・地域からの要望に応える	A+	A	△	/	/	/	S+	A	▲
24	家庭への連絡のきめ細かさ	A+	A	△	/	/	/	/	/	/
25	知識・技能・自分で考え行動する力の育成	A	A	—	/	/	/	S	B+	▲
26	協調性・思いやり・感動する心の育成	A+	A	△	/	/	/	S	A	□
27	体力・健康に生活する意識の育成	A+	A	△	/	/	/	S+	A	▲

2 アンケート結果からみた成果と課題及び今後の取り組み

◎2「友達と仲良く過ごす」保（S+）児（S） ※保：保護者評価 児：児童評価

授業のなかで、友達どうしで学び合いながら互いに認め合うことができるように取り組んできました。また、学級・学年で子どもたちが楽しめるような活動も数多く取り入れてきました。今後もこうした取り組みをすすめていきます。

◎3「授業はわかりやすい」保（A+）児（S）

子どもたちの学習意欲が高まり、わかりやすい授業にするために、教材の工夫、板書、タブレットの活用などに力を入れて取り組んできました。今後、さらなる改善を図ってわかりやすい授業づくりをめざしていきます。

●7「すすんで本を読む」保（C）児（C+）

学校では、毎日の朝読書を継続するなかで、読み聞かせボランティアの方の協力もいただきながら取り組みを進めています。教職員の評価にもある通り、さらなる工夫が必要と考えています。今後、子どもたちが進んで読書に取り組めるよう、家庭での協力も併せてお願いいたします。

●14「いじめ・けんかの指導、心の悩みへの対応」保（B+）児（A）

いじめやけんか等のトラブルが発生した場合は、双方から話を聞いたうえで事実確認をし、保護者の方への連絡をするという対応をしてきました。また、お子さん自身の悩みについては、生活サポート担当が中心となり、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、その他の関係機関につなぐ対応もしてきました。今後、さらに丁寧に一人一人に寄り添った対応をすすめていきます。

●23「保護者・地域からの要望に応える」保（A）

この項目のほか、「学校からの情報発信」、「家庭への連絡のきめ細やかさ」についても、昨年度よりポイントが下がっています。今後、何か困りごとや相談ごと等がありましたら、担任や学年職員だけでなく結構ですので、遠慮なくお申し出ください。学校からの情報発信や連絡につきましては、なるべく早く丁寧におこなってまいります。

3 アンケート自由記述より

○みんなでがんばるようないろいろなイベントがあつて、子どもたちの成長を感じる。

○鷹丘発表会はとても感動した。日付を変更してまで開催してくれたことに感謝。

●担任の先生以外で、気軽に、場合によっては匿名で相談できる仕組みがほしい。

→学校生活全般にかかわる相談は生活サポート担当、発達面や行動面に関する相談は教育コーディネーターが窓口となって対応しています。必要に応じて、他機関へつなげる仕組みができています。どうしても匿名でという場合には、電話等でもけっこうです。

●タブレットの扱いについて、遊び目的で長時間にならないようにしてほしい。

→担任が子どもたちの実態に応じて、繰り返し指導をしています。

●子どもたちの長所や良いところを伸ばしてあげられる機会をもっと与えてほしい。

→日々の授業のなかで長所や良いところが生かせるような場を設けるなど、さまざまな機会をとらえて一人一人のよさに目を向けたりする取り組みをすすめていきます。

●旗当番をしない保護者がいるので改善を望む。

→子どもたちの安全確保のため、PTAと協力をして働きかけていきます。